

	人間学研究科(修士課程)
DP	<p>人間学研究科修士課程において、2年以上在学し、修了に必要な30単位以上を修得した上で、所定の修士論文の審査に合格し、</p> <p>①現代の人間をめぐる諸問題について、その本質と解決の方策を考察できる深い知識を持つ</p> <p>②さまざまな人と協調してコミュニケーションをとり、自分の主張を伝えられる</p> <p>③人間と社会のありようを学際的総合的に、しかも論理的に深く考察できる</p> <p>④公共性と倫理のあり方を考察し、高い見識を持つ</p> <p>⑤日本文化と多様な文化への深い理解を背景にして、人と人との交流を支援できる</p> <p>⑥高い語学力を生かして国内外で就業できる力量を持つ</p> <p>⑦人間の心のあり方とその成長の道すじを深く理解し、教育のあるべき姿を提言できる</p> <p>これらの総体としての高度な能力を身につけた学生に対して、修士(人間学)を授与します。</p>
CP	<p>人間学研究科修士課程の教育課程は、</p> <p>①心理、社会・教育、国際・コミュニケーションの3分野から構成され、PBL学習など双方向で運営される特論科目</p> <p>②3分野相互の関連性の理解や共通する研究方法、コミュニケーションの修得を目指す1年次の共通科目「人間学特別演習」「コミュニケーション特別演習」</p> <p>③体験による学習活動を中心とする3分野それぞれの関連科目</p> <p>④修士論文のための研究を行う科目「人間学特別研究」</p> <p>を配置し、高度の専門性・総合性・実践性を重点に編成しています。</p>
AP	<p>本研究科修士課程で学ぶためには、</p> <p>①人間についての広い視野と探究の基本技能を身につけている</p> <p>②人間の心、人と人との交流、教育についての基本知識とさらなる探究への意欲を持っている</p> <p>③国内外の社会情勢や異文化、多様な価値観に関する基本知識とこれを深めようとする態度をはぐくんでいる</p> <p>これらの総体として発揮される能力を身につけていることが望まれます。</p>